

# 少年野球で国際交流

— 白浜スポーツ少年団 —



▲野球を楽しみ、友情を深めた子供たち

世界各国から16チームが参加し東京で開催された、第13回少年野球世界大会のCブロックリーグ戦が、7月29日光スポーツ公園で開かれました。この大会に参加した南米ペルーの子供たちは、7月27日から8月2日まで白浜スポーツ少年団の各家庭にホームステイしながら白浜小を訪問したり、白浜スポーツ少年団と親善試合を行いました。またバーベキューや地曳網を楽しみ光町での生活に親しんでいました。現在真冬のペルーからきた子供たちは、日本の暑さに少し疲れ気味



でしたが、グラウンドではさわやかな汗を流して、好きな野球で、国際交流をはかっていました。

## 800年の歴史の重み 鬼来迎

山すそに設けられた舞台の陰から「ジャーン、ジャーン」と鑢鉞の音、「ホッホッホー」の奇声がひびくといよいよ開演。猛暑の8月16日、虫生の広濟寺で伝統の鬼来迎が演じられました。

う様を描いた全国でも珍らしい仏教劇、怪奇な世界がくり広げられました。舞台上に登場する鬼婆に、赤ん坊を抱いてもらおうと健康に育つという虫封じの場面では、赤ちゃんのがわがり泣く姿に集まった多勢の観衆から思わず笑いがおこっていました。



▲地獄の一場面  
巨大な仮面をつけた「俱生神」と「閻魔大王」



▲鬼婆による虫封じ

## 八坂神社の鳥居再建

### ハローつうしん



▲集落に響き渡る笛・太鼓の音色

原方集落では、損傷の激しかった鳥居が再建され、7月15日に厳粛な式典が行われました。当日は式典の後若い男女20数人が、新調した名人の半天を装い、年長者の指導により毎夜練習したおはやしが集落に響き渡りました。一時間余りのなごみは不景気を吹き飛ばし、集落の発展と潤いを感じさせました。

通信員 木原正子(原方)

## 親善ゲートボール大会

スポーツの好きなお年寄りのグループ「しらほまGBチーム(伊藤広代表)では、7月29日町営白浜GB場(木戸浜)に銚子・旭・多古のお友だちを招いて、親善交歓のゲートボールの試合を行いました。

▼和やかに熱戦を展開



通信員 山辺光男(木戸)